



黒瀬さんの時間割(1年前期) ※現在科目名変更(旧科目名で表記)

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		基礎ゼミ1		日本語の技法	情報処理基礎
2	無機化学Ⅰ	微分積分Ⅰ			
3	化学技術者倫理	英語演習Ⅰ	応用化学実験Ⅰ		有機化学Ⅰ
4		線形代数Ⅰ		英語演習Ⅰ	
5				オーラルイングリッシュⅠ	基礎物理学および演習

【黒瀬さんの卒業研究テーマ】
新型コロナウイルス用の新規人工ペプチドワクチンの開発

黒瀬 愛実莉 さん 応用化学科(4年)
岡山県・岡山学芸館高校出身

ミクロな世界から地球規模の問題まで — 未来を切り開く化学技術者をめざして —

地球温暖化、エネルギー問題など、現代社会が抱える問題の解決は、明るい次世代社会を築くために不可欠です。これらの問題にかかわる化学現象の解明や新物質の創出に、応用化学の立場から取り組んでみませんか。応用化学のフィールドは、物理化学・無機化学・有機化学・高分子化学はもとより、医学・薬学・農学・食品化学などの融合領域まで、その研究対象もミクロな世界から地球規模の問題まで、大きく広がっています。応用化学科では、「人間力の養成や「実学」に特化したプログラムを実践します。

充実した実験設備と課題解決型実験 — 化学現象に対してわき立つ興味と深まる理解 —

1年次の基礎的な化学実験から4年次の専門性の高い卒業研究まで、常に実験を通して化学現象の理解を確実なものにしていく精神が、カリキュラムの大きな特色の一つとなっています。なかでも、数人のグループで実験をデザインして課題解決を行う学習(Project-Based Learning)は、学生自身の自立・自発的学習を誘導する取り組みとして、実験設備の充実とあわせて、特に力を入れています。詳しくは、応用化学科ホームページ(<https://www.apch.kindai.ac.jp/>)をご覧ください。

目標とする 資格・検定

- 所定の単位修得で取得できる資格
- 毒物劇物取扱責任者
 - 中学校教諭一種免許状(理科)
 - 高等学校教諭一種免許状(理科)
 - 技術士補
- 理工学部共通
- 図書館司書
 - IT/パソコン
 - 基本情報技術者

- 関連の深い資格・検定
- 危険物取扱者
 - ガス主任技術者
 - 公害防止管理者
 - 高圧ガス製造保安責任者
 - 特定高圧ガス取扱主任者
 - エネルギー管理士
 - 環境計量士
 - 浄化槽管理士
 - 化学分析技能士(1級・2級)
 - 放射線取扱主任者(第1種・第2種)
 - 労働安全コンサルタント
 - 労働衛生コンサルタント
 - エクسس操作主任者
 - 消防官(専門系)
 - 消防設備士
 - FE(Fundamentals of Engineering)
 - 技術士 など

カリキュラム

※カリキュラムは2024年度のもので、2025年度は変更になる場合があります。 ※[]内の数字は単位数

次世代の産業発展のカギを握る化学合成技術を追究します



専門科目	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	応用化学実験Ⅰ [3] 有機化学Ⅰ [2] 無機化学Ⅰ [2] 応用化学実験Ⅱ [3] 基礎化学総合論 [2] 有機化学Ⅱ [2]	物理学実験 [2] 応用化学実験Ⅲ [3] 化学情報処理基礎 [1] 物理化学Ⅰ [2] 量子化学Ⅰ [2] 無機化学Ⅱ [2] 有機化学Ⅲ [2] 化学数学Ⅰ [2] 有機金属論 [2] 応用化学実験Ⅳ [3] 物理化学Ⅱ [2] 無機化学Ⅲ [2]	応用化学実験Ⅴ [3] 実験デザインⅠ [1] 応用化学セミナーⅡ [2] PICK UP 1 物理化学Ⅱ [2] 有機化学Ⅳ [2] 化学工学Ⅰ [2] 安全工学Ⅰ [2] 化学数学Ⅱ [2] 応用化学実験Ⅵ [3] 実験デザインⅡ [1] 化学工学Ⅱ [2] 物理化学Ⅳ [2]	卒業研究 [8]
必修(選択)科目		環境工学 [2] エネルギー工学 [2]	エネルギー工学 [2] 環境工学 [2] PICK UP 2	
選択科目		有機構造化学 [2]	界面化学 [2] 高分子化学 [2] 分光学Ⅰ [2] 分光学Ⅱ [2] コンピュータ化学 [2] 有機合成化学Ⅱ [2] 卒業研究セミナーⅠ [1] 有機合成化学Ⅰ [2] 有機金属化学Ⅰ [2] PICK UP 3 バイオテクノロジー [2] アドバンスト物理化学Ⅰ [2] アドバンスト有機化学Ⅰ [2] アドバンスト無機化学Ⅰ [2]	

PICK UP! 1

応用化学セミナー

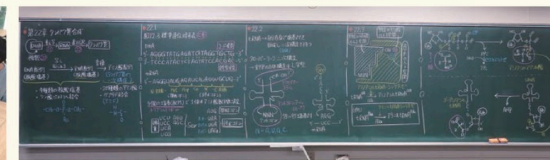
最先端の科学技術、大学・研究機関の「研究・開発」現場、企業の「ものづくり」現場を学習します。各回、学内外から、会社社長、研究所長などをお招きし、実際の現場に基づいた講義を行います。



PICK UP! 2

環境工学

環境汚染の種類や原因、その分析法と解決法・対処法について学びます。環境問題の原因究明と因果関係を追及し、研究者や技術者としての基礎的素養を身につけた講義を行います。



PICK UP! 3

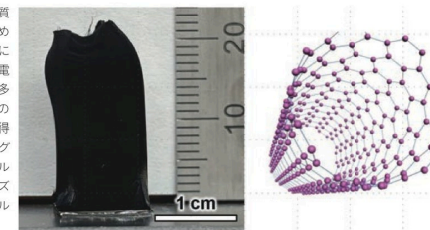
バイオテクノロジー

生体を構成する物質や、その働きについて学習します。細胞中の物質交換を担う酵素(触媒)を通して、DNAやタンパク質が担う過程を応用した化学技術についても知識を深めます。

TOPICS

長尺カーボンナノチューブフォレスト成長法と応用技術の開発

カーボンナノチューブ(CNT)は炭素原子のみから成るチューブ状の物質で、炭素原子が六角形の網目状に結合したシート(グラフェンシート)を丸めて筒状にした構造をもっています。ナノメートル(10⁻⁹m)スケールの直径による「軽さ」と「しなやかさ」を有し、素材として豊富であること、また高い電気・熱伝導性を有することから、さまざまな応用が期待されています。多様な形状のCNTが存在する中、特に高い数密度でCNTが森(フォレスト)のような形態となる「CNTフォレスト」の成長技術は、長尺なCNTを効率良く得る技術として有望です。応用物理化学研究室(杉目恒志講師らの研究グループ)では、オリジナルの触媒と成長方法によるセンチメートルスケールの長尺CNTフォレストについて研究を進めています。基礎的な成長メカニズムのほか、次世代技術として強度材料、電気化学バイオセンサー、エネルギーデバイス用の電極材料などへの応用について研究を進めています。



研究室紹介

表面設計化学研究室



地球環境に負荷のない新しい触媒の開発をめざす

古南 博 教授(左) 田中 淳皓 講師(右)

触媒は化学反応における司令塔。資源を有効に利用し、自然エネルギーや廃棄物を活用できるインテリジェント触媒を開発し、エネルギー変換や環境浄化など地球にやさしい化学反応を研究しています。

無機材料化学研究室



ソフトプロセスによる無機ナノ蛍光体・ナノ色材・無機固体材料を製作

岩崎 光伸 教授(左) 岡 研吾 講師(右)

一つひとつの細胞を検出可能な超微細蛍光マーカー。見る角度により色彩が変わる色材。さまざまな金属を表面改質したセラミック電子材料。特異な誘電特性を有する無機固体材料などに取り組んでいます。

応用元素化学研究室



元素の秘密を解き明かし、高機能材料を作る

松尾 司 教授(左) 太田 圭 助教(右)

周期表にあるさまざまな元素を自在に結合させて、優れた機能を発揮する物質を開発しています。基礎化学に貢献するだけでなく、電子工学や省エネルギー技術の革新にもつながると期待されています。

有機構造化学研究室



回転する光(円偏光発光:CPL)を操り、未知なる機能創出

今井 喜胤 教授

当研究室は有機構造化学(電子構造、共役電子系、特異な分子構造、分子集合体)をベースとし、分子の仕組み、構造、反応性を巧みに利用・設計して、有機機能性物質の創製研究を行っています。

ナノ材料創生化学研究室



半導体ナノ材料を極めて、エネルギーをつくって・貯めて・操る

中野 秀之 教授

無機および有機化合物の合成手法を駆使して、ケイ素やゲルマニウム化合物の単層剥離を行い、厚さが1ナノメートル前後の極薄2次元結晶を創生するとともに、新規機能の開拓、電子材料・エネルギー材料の開発を行っています。

材料物性研究室



ナノ物質の構造と物性

瀬口 泰弘 准教授

ナノメートル程度まで小さくした物質は、思いがけない構造や性質を示すことがあります。物理的/化学的な気相堆積法によって生成されるナノ構造体の形態制御やその特徴的性質に関する研究を行っています。

有機巨大分子合成化学研究室



有機巨大分子の合成・機能発現

石船 学 准教授

温度による性質変化や光記憶への応用など、さまざまな機能を持った高分子を合成しています。白金や炭素繊維の表面をこれらの分子で修飾し、環境調和型触媒や機能性電極の開発に取り組んでいます。

応用有機合成化学研究室



酸化物半導体/炭素複合系を用いた、新規可視光応答性光触媒の開発

松井 英雄 准教授

太陽光と水から、クリーンなエネルギー源である水素を製造する、新しい光触媒の開発を行っています。地球温暖化やエネルギー問題の解決を目的に、効率の良い光触媒の開発に挑戦しています。

ナノ機能分子化学研究室



最先端のナノテクノロジーを用いた物質の制御に挑む

仲程 司 准教授

ナノテクノロジーで生み出された、ナノサイズの細孔を持つポリマーナノチューブと、有機分子を保護基とする金属ナノクラスターの研究に取り組んでいます。

生物物理化学研究室



生体分子の新しい形を人の力で生み出す

北松 瑞生 准教授

当研究室では、ペプチド化学や生物有機化学を専門として、天然のペプチド・タンパク質、核酸では得られない新規機能を持つ「天然に存在しないペプチドや核酸」をつくり出す研究に取り組んでいます。

固体材料化学研究室



固体材料の電子状態の解明と機能設計

藤島 武蔵 准教授

太陽電池、燃料電池、光燃料電池などのエネルギーデバイス的心臓部である「電極触媒」の表面電子状態、金属材料および半導体材料の光物性と電子物性に関する研究に取り組んでいます。

応用無機合成化学研究室



ナノテクノロジーを駆使して、環境浄化に挑戦

副島 哲朗 准教授

生活の快適性と環境浄化をコンセプトに、ナノテクノロジーを基盤とする、無機化学の新しい合成法の開発および各種材料に新しい機能を発現させる研究を行っています。

エネルギー材料化学研究室



新規機能性無機材料の開発と物質・エネルギー変換への応用

室山 広樹 准教授

カーボンニュートラルな社会の実現に向けて、物質・エネルギー変換反応へ利用可能な無機固体材料の研究を行っています。触媒化学、電気化学をベースとした反応系を理解し、優れた機能性材料の開発をめざします。

応用物理化学研究室



新規ナノ材料合成プロセスの開発と環境・ヘルスケア技術への応用

杉目 恒志 講師

化学工学・物理化学に基づいた、カーボンナノチューブ・MXeneなど新規ナノ材料の合成プロセスの理解と高機能化を行い、これらの材料を用いた環境・ヘルスケア技術への応用に取り組んでいます。

物質機能化学研究室



新規無機材料合成・機能評価と先端 X 線分光

朝倉 博行 講師

さまざまな無機合成手法を駆使して、酸素放出材料、酸素還元・発生反応触媒へ応用可能な金属酸化物の開発を行っています。また、材料分析に有用な X線吸収分光法の基礎研究にも取り組んでいます。

* 研究室は2024年度のもので、2025年度は変更になる場合があります。

卒論テーマ紹介

応用無機合成化学研究室

酸化チタンナノ環状膜を用いる多用途質量分析法の開発

ナノサイズの環状膜を有する酸化チタン薄膜を、分子クラスターのソフトレーザー脱離イオン化法に利用する質量分析法を開発しました。従来のMALDI-TOF質量分析法では分析が困難な低分子量の有機分子や、無機ナノ粒子の分析も可能な多用途性を有し、実用的に重要な繰り返し使用も可能であることを実証しました。

応用元素化学研究室

炭素とケイ素からなる共役系物質の開発

硫黄を含む5員環の化合物である「チオフェン」と、汎用典型元素であるケイ素の二重結合(ジシレン)をつないだ、新しい「共役系物質」を開発しました。この物質は、チオフェンの数が増えると色彩が変化し、室温で発光する期待を持っています。高性能の有機半導体など有機電子デバイスへの応用が期待されます。

生物物理化学研究室

機能性ペプチドを細胞の中に運搬する新しい方法の開発

タンパク質と同等の機能を持つペプチド(機能性ペプチド)を細胞の中に運ぶことは、画期的な治療薬の開発につながります。ペプチド同士を繋ぎ合わせるロイシンジッパーというペプチドを使って、機能性ペプチドと細胞の中に自発的に入るペプチドとを繋ぎ合わせることで、その機能を損なうことなく機能性ペプチドを細胞の中に運ぶことができました。

有機巨大分子合成化学研究室

温度ならびにpH応答性高分子を固定化した炭素繊維を利用する分子認識

高分子の中には、水溶液中、温度やpHの変化にともなって、かたちや集合状態を変化させる機能を持ったものがあります。このような高分子にさらに特定の分子と相互作用する部位を持たせ、これを炭素繊維に固定化した複合材料を製作しました。これを用いて、水溶液中に存在する特定の有機物を選択的に認識・捕集することに成功しました。

在学生 Interview

将来の選択肢が多い応用化学科

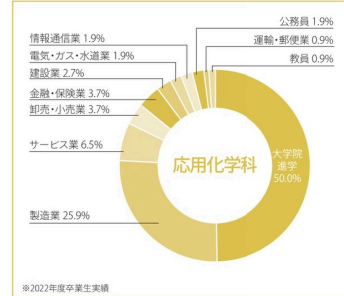


黒瀬 愛茉莉 さん

応用化学科4年 岡山県・豊後高専出身

応用化学科では基礎的な実験から専門的な実験まで行うことができ、さまざまな方面から化学を学ぶことが魅力です。また将来の夢が決まっていなかったからこそ、幅広い分野で活躍でき、将来の選択肢の多い応用化学科を選びました。応用化学科で得たものは忍耐。実験や研究では予想通りにならないことも多く、粘り強く続けることが重要です。なぜそのような結果になったのかを柔軟に考え、次に生かすことでいい結果が得られると学びました。

業種別進路先



将来の進路

約半数の学生が大学院に進学。就職先は製造業が最多

多くの学生が大学院へ進学することが応用化学科の特徴の一つです。化学の専門知識やさまざまな分析機器の操作技術を身につけた学生は社会から高い評価を受けており、化学系を中心とした製造業の技術職、化成品などの卸売りなどの営業職、分析センターでの分析職などに主に就職し、一部の学生は中学・高校教員や公務員になっています。

主な就職・進学先

Table with 2 columns: Industry (e.g., 製造業, 卸売・小売業, サービス業, 公務員・教員, 大学院進学, その他業種) and Companies (e.g., 旭化成, エスケー化研, 三菱電機, Canon IT, etc.).

* 2022年度卒業生実績(情不同)